

AHD カメラ

ICB-AH201V(1), ICD-AH202V(1), ICD-AH202VIR(1),
ICI-AH203V(1), ICVD-AH204V(1), ICS-AH215, ICS-AH221-VP(DC)
ICB-AT201V, ICD-AT202V, ICI-AT203V, ICVD-AT204VIR

GUI 説明書

Ver. 2.10

<おことわり>

- この GUI 説明書は、発行時点で弊社が販売している AHD カメラに関する記述を含んでおります。従いましてお客様が購入された機種には存在しないメニューの説明が含まれている場合があります。また、この説明書が発行された後に追加された機能が含まれていない場合があります。
- 設定メニュー内の項目やその選択肢及び初期設定値は、NTSC モード AHD 2.0 (1080p) フォーマットの場合のものです。PAL モードや SD フォーマットでは多少異なる場合があります。
- この GUI 説明書は紙面の都合上、映像技術・テレビジョン技術・照明技術・電子技術等、関連技術に関する一定程度の基礎知識を有するカメラ設置技術者を対象として記述しております。



- この度は、AHD カメラをお求めいただきありがとうございます。
- 本機をご使用前に、この GUI 説明書をお読みいただき、製品の機能や操作法について、十分ご理解いただいた上で、正しく使用していただきますよう、お願い致します。

目 次

I.	基本操作	4
1.	ビデオフォーマット・ビデオモード・解像度の切換え.....	4
1.	ビデオフォーマットの切換え.....	5
2.	AHD 解像度の切換え (720p は AH シリーズのみ、AT シリーズでは設定禁止)	5
3.	ビデオモードの切換え.....	5
II.	セットアップメニュー	6
1.	メインメニュー.....	6
2.	サブメニュー	6
4.	LENS メニュー.....	6
5.	EXPOSURE メニュー.....	7
6.	BACKLIGHT メニュー.....	9
7.	WHITE BAL メニュー.....	11
8.	DAY&NIGHT メニュー.....	12
9.	NR メニュー.....	14
10.	SPECIAL メニュー.....	15
11.	ADJUST メニュー.....	18
III.	付録	20
1.	TVI 及び CVI 方式への切り換えについて	20
1.	HIDDEN (不可視) メニュー.....	20

警告

カメラには定期点検が必要です。

点検は、技術のあるサービスマンが行ってください。

故障を発見したら、直ちにカメラの使用を止めてください。

カメラから煙が出たり、高温になっていたりする場合は、火災の危険性があります。

頑丈な場所に取り付けてください。

カメラを天井や壁面等に取り付ける際には、落下防止のため頑丈な下地のある部分に設置してください。

安全な場所に取り付けてください。

カメラは、歩行者や自転車等が接触しない安全な場所に取り付けてください。

カメラを分解しないでください。

火災や感電の危険性があります。

濡れた手で取り扱わないでください。

感電の危険性があります。

ガスや油漏れのあるところでカメラを使用しないでください。

火災等の危険性があります。

注意

極端な温度条件の場所にカメラを設置しないでください。

カメラは-10～50℃の温度範囲でご使用ください。特に高温になる場所では換気に注意してください。

湿度の高い環境でカメラを設置及び使用しないでください。

画質が悪くなることがあります。

不安定な照明条件の場所にカメラを設置しないでください。

断続的に変化する照明やチラつきのある照明は、カメラの動作を不安定にすることがあります。

カメラの対物レンズに手を触れないでください。

カメラで最も重要な部品の一つです。指紋で汚さないようにご注意ください。

カメラを落としたり衝撃を与えたりしないでください。

故障することがあります。

カメラの正面に強い光を当て続けしないでください。

C-MOS センサーを傷めることがあります。

正しい電圧と極性の電源をご使用ください。

カメラの電源電圧と極性は、本体の表示に従って正しく接続してください。動作電圧範囲は特に表示がない場合、定格電圧±10%（DC12V のカメラの場合 10.8～13.2V）です。配線距離が長い場合には、電線の導体抵抗による電圧降下にもご注意ください。

I. 基本操作

カメラの OSD メニュー操作は、OSD ノブまたはボタンで行います。

OSD ノブまたはボタンの操作方向は、上(U)・下(D)・左(L)・右(R)・中央(S)の 5 つです。

上▲(U)方向に倒すように押す：メニューの項目を上に移動します。

下▼(D) 方向に倒すように押す：メニューの項目を下に移動します。

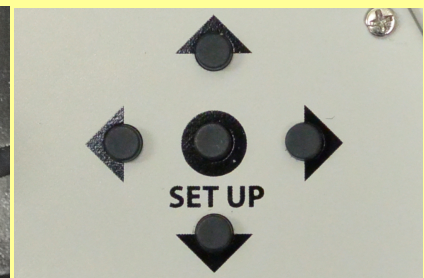
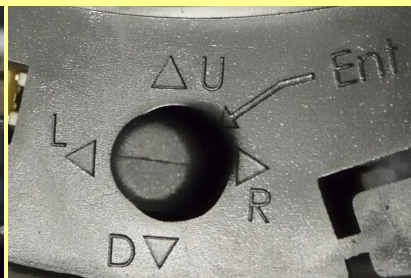
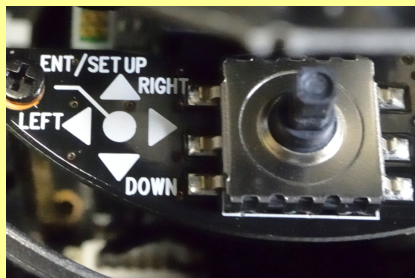
左◀(L) 方向に倒すように押す：選択されている項目の値を変更します。値が数値の場合は下げます。

右▶(R) 方向に倒すように押す：選択されている項目の値を変更します。値が数値の場合は上げます。

中央(S)まっすぐ押す： OSD メニューに入ります。OSD メニュー内の場合はメニュー階層を切り替えます。

<注意>

- OSD ノブまたは上下左右の方向ボタンの操作方向は、**パネルや基板に印字または刻印された標識の方向**に従ってください。**地表から見た方向ではありません**のでご注意ください。



1. ビデオフォーマット・ビデオモード・解像度の切換え

本機はビデオフォーマットを AHD と SD から選択出来、さらに AHD モードでは解像度を 1080p (AHD 2.0) と 720p (AHD 1.0) から選択できます。さらにビデオモードを NTSC (垂直周波数=60 / 30Hz) と PAL (垂直周波数=50 / 25Hz) から選択できます。

従って、これらの組み合わせは全部で 6 種類存在します。

ビデオモード	ビデオフォーマット	解像度	垂直周波数
NTSC	AHD	1080p	30Hz
		720p	30Hz
	SD	480i	60Hz
PAL	AHD	1080p	25Hz
		720p	25Hz
	SD	576i	50Hz
<注意> AT シリーズでは、720p は設定禁止です。			

1. ビデオフォーマットの切換え

- OSD ノブを左 (Left) に 4 秒間倒すように押すと AHD フォーマットから SD フォーマットに切り替わります。
- OSD ノブを右 (Right) に 4 秒間倒すように押すと SD フォーマットから AHD フォーマットに切り替わります。

2. AHD 解像度の切換え (720p は AH シリーズのみ、**AT シリーズでは設定禁止**)

- 本機が AHD フォーマットの 1080p (AHD 2.0) に設定されている状態で、OSD ノブを上 (Up) に 4 秒間倒すように押すと映像が消えます。その後、一旦電源を切ってから 5 秒程度待つて再通電すると AHD 解像度を 720p (AHD 1.0) に切り替えることができます。
- 本機が AHD フォーマットの 720p (AHD 1.0) に設定されている状態で、OSD ノブを上 (Up) に 4 秒間倒すように押すと映像が消えます。その後、一旦電源を切ってから 5 秒程度待つて再通電すると AHD 解像度を 1080p (AHD 2.0) に切り替えることができます。

3. ビデオモードの切換え

- 本機が NTSC モードに設定されている状態で OSD ノブを下 (Down) に 4 秒間倒すように押すと映像が消えます。AH シリーズの場合その後、一旦電源を切ってから 5 秒程度待つて再通電すると PAL モードに切り替えることができます。(AT シリーズの場合はこの操作は不要です)
- 本機が PAL モードに設定されている状態で OSD ノブを下 (Down) に 4 秒間倒すように押すと映像が消えます。AH シリーズの場合その後、一旦電源を切ってから 5 秒程度待つて再通電すると NTSC モードに切り替えることができます。(AT シリーズの場合はこの操作は不要です)

<注意>

- AHD フォーマットと SD フォーマットの OSD 設定は独立して動作しています。フォーマットを切り替えると設定内容は引き継がれませんのでご注意ください。
- **本機の SD フォーマットは簡易出力機能です。** イメージセンサーの画素を間引く方式で SD 解像度の信号を取り出しておりますので、**電線のような細い線が途切れ途切れに映る場合があります。(故障ではありません)**
- **AH シリーズの AHD1.0 (720p) の解像度は簡易出力機能です。** イメージセンサーの中心部の画素のみを使用して 720P 解像度の信号を取り出しているため、**他の解像度に比べ画角が約 3 分の 2 になります。** これは、レンズの焦点距離が 1.5 倍になったのと同等の効果になります。**(故障ではありません)**
- **AH シリーズのワンケーブルタイプカメラでは SD フォーマットは設定禁止です。** (映像が乱れる場合があります。)
- **AT シリーズで 720p は設定禁止** です。
- AT シリーズで誤って 720p の設定を実行すると、映像を出力しなくなります。元に戻す場合はもう一度同じ操作 (OSD ノブまたはボタン操作で **UP** 方向 4 秒長押し) をしてください。

II. セットアップメニュー

1. メインメニュー

メニューが表示されていない状態から OSD ノブをまっすぐ押す (S) とメインメニューに入ることが出来ます。メインメニューを終了するには、メインメニューで「EXIT」を選択します。

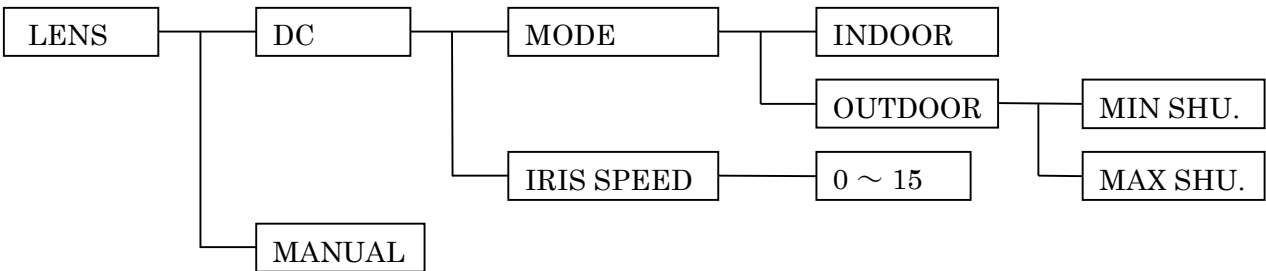
メインメニューの中には次表のサブメニューの階層があります。

項目	説明
LENS	カメラに使用するレンズのアイリスの種類を選択と、その動作の設定
EXPOSURE	露出に関する設定
BACK LIGHT	逆光補正に関する設定
WHITE BAL	ホワイトバランス（白基準調整）に関する設定
DAY&NIGHT	デイナイト切換えに関する設定
NR	ノイズリダクション（ノイズ低減）機能に関する設定
SPECIAL	特殊機能に関する設定
ADJUST	映像出力調整に関する設定
EXIT	OSD メニューの終了と設定初期化

2. サブメニュー

4. LENS メニュー

LENS メニューではレンズのアイリス（絞り）制御方法の選択と、そのパラメータを設定します。



項目	設定値	説明
DC		DC アイリス制御方式のレンズを使用する場合に選択します。
MODE		アイリスの動作モードを選択します。
	INDOOR	屋内使用に適したアイリス制御をします。
	OUTDOOR	屋外使用に適したアイリス制御をします。
		MIN SHU. 最低シャッタースピードを表示します。NTSC モードでは 1/30 秒固定です。
		MAX SHU. 最高シャッタースピードを以下の選択肢から選択できます。 1/60, FLK, 1/240, 1/480, 1/1000, 1/2000 , 1/5000, 1/10000, 1/50000 [秒] (NTSC モード時)
IRIS SPEED	0 ~ 15	アイリスの動作速度を 0~15 の範囲で調整します。値が大きいほど速くなります。(初期値： 8)
MANUAL		MANUAL (手動) アイリス方式またはアイリスを持たないレンズを使用する場合に選択します。

<情報>

DC アイリス方式のレンズを使用する場合に、明るい環境では被写界深度が深くなるのでフォーカス調整が困難になります。このような場合は一時的に設定を「MANUAL」に切り換え、フォーカス調整を行った後に「DC」に戻すと容易に調整出来ます。

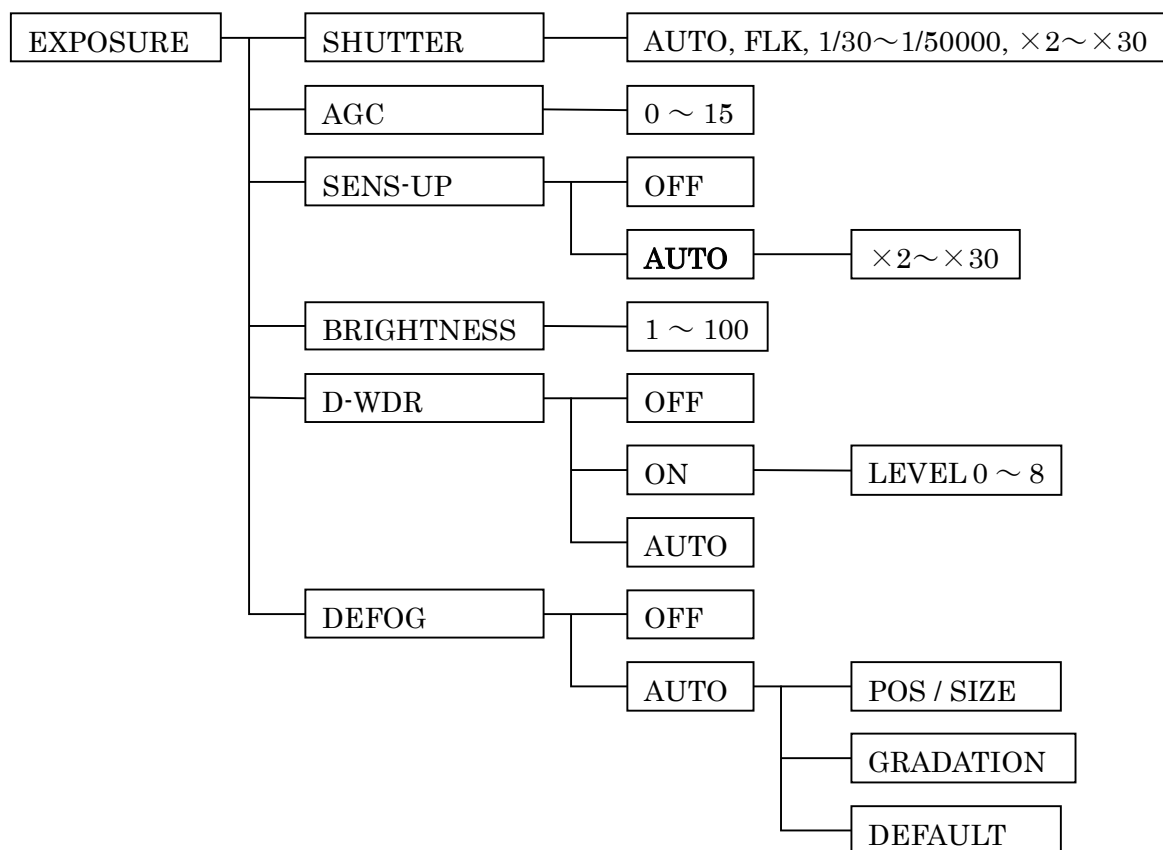
<注意>

- DC アイリスレンズを使用して明るい環境で「DC」設定のままフォーカス調整をした場合、夜間に映像がぼやけることがあります。
- マニュアルアイリスレンズをご使用の場合、アイリスを手動で開放してからフォーカス調整をしてください。

5. EXPOSURE メニュー

EXPOSURE メニューでは、露出調整に関する設定をします。

カメラの露出調整は、アイリス（絞り）とシャッタースピード及び映像増幅器のゲイン（利得）を調整することで制御しています。



項目	設定値	説明
SHUTTER	初期値： <u>1/30</u>	電子シャッターのスピードを指定します。
	AUTO	シャッタースピードを自動的に調整します。
	FLK	電源周波数が 50Hz の地域で、蛍光灯・水銀灯等の照明を使用する環境で映像がちらつく場合に「FLK」にしてください。
	1/30 ～ 1/50000 (NTSC モード時)	指定したシャッタースピードで撮影します。
	×2 ～ ×30	指定した倍率で感度アップ機能を動作させます。感度アップ機能は、スローシャッターにすることで感度を上げていますので、垂直同期信号のフレーム数は下がりますが、シャッタースピードが遅くなるので映像のフレーム数は倍率分の 1 になります。
AGC	0 ～ 15 初期値： <u>14</u>	自動利得調整（暗い環境で映像増幅器の利得を自動調整する機能）の利得の上限を指定します。大きい値を設定することで暗い環境でもシャッタースピードをあまり下げることなく撮影することが出来ますがノイズが増えます。一方、暗い環境でノイズが多い場合は値を下げることでノイズを減らすことが出来ますが、明るく撮影するためには SENS-UP 等を使ってシャッタースピードを遅くする必要があります。
SENS-UP		「SHUTTER」の感度アップ機能が倍率固定式であるのに対し「SENS-UP」による感度アップは、明るさに応じて倍率が自動的に変化します。
	OFF	自動感度アップ機能を使用しません。
	AUTO (×2～×30) 初期値：AH→ <u>AUTO(×4)</u> AT→ <u>OFF</u>	自動感度アップの上限倍率を指定します。倍率を高くするほど暗い場所まで撮影できるようになりますが、シャッタースピードは遅くなります。
BRIGHTNESS	1 ～ 100 初期値：AH→ <u>35</u> AT→ <u>40</u>	映像の明るさを調整します。
D-WDR 初期値 AH→ <u>ON</u> AT→ <u>AUTO</u>		デジタルワイドダイナミックレンジ機能は、明るい部分と暗い部分が混在する映像の明るさの差を低減して見易くする機能です。
	OFF	D-WDR 機能を使用しません。
	ON (0 ～ 8) 初期値：AH→ <u>6</u> AT→ <u>5</u>	D-WDR 機能を有効にし、効果の強さを 0 ～ 8 の 9 段階で手動設定できます。
	AUTO	D-WDR 機能を有効にし、効果の強さを自動調整します。

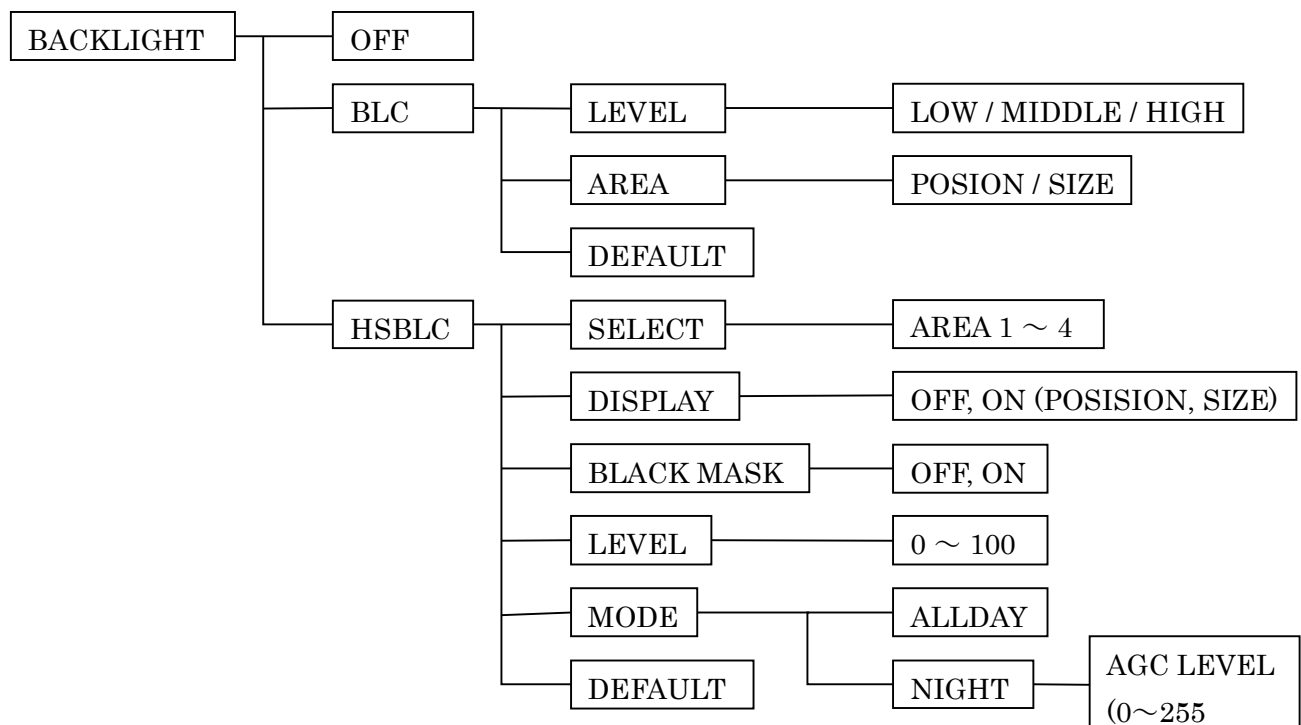
DEFOG 初期値： OFF			霧補正機能は、霧のような霞んだ映像のコントラストを補正することで、映像を見易くする機能です。
	OFF		霧補正機能を使用しません。
	AUTO		霧補正機能を使用します。
		POS / SIZE	霧補正を適用する画面上の範囲を位置及び幅と高さで指定します。
		GRADATION	霧補正を適用する範囲の境界部分をくっきりさせるか滑らかにさせるかを 0 ～ 2 の範囲で選択します。 値が大きい方が滑らかになります。
		DEFAULT	「POS/SIZE」及び「GRADATION」の状態を工場出荷状態に戻します。

<注意>

- 「SHUTTER」は DC アイリスレンズを使用する設定で「INDOOR」モードが選択されている場合に操作できます。
- 「SENS-UP」は「SHUTTER」の値が「AUTO」または「1/30」で且つ「AGC」の値が「1」以上の場合に動作します。

6. BACKLIGHT メニュー

BACKLIGHT メニューでは逆光補正に関する設定をします。



設定値 1	設定値 2	説明
OFF		逆光補正機能を使用しません。
BLC		逆光補正機能を使用します。
	LEVEL	逆光補正の効果の強さを LOW, MIDDLE, HIGH から選択します。 初期値： MIDDLE
	AREA	適切な明るさで表示させたい被写体のある画面上の位置（測光エリア）を長方形の範囲で指定します。
	DEFAULT	「LEVEL」及び「AREA」の状態を工場出荷状態に戻します。
HSBLC		HSBLC（逆光マスク）機能を使用します。 この機能では、最大 4 箇所までの長方形のエリアを指定し、指定したエリア内の逆光部分を黒く塗り潰します。
	SELECT	設定を変更するエリアを 1 ～ 4 から選択します。それぞれのエリアは独立して動作します。
	DISPLAY	選択したエリアを、使用するか使用しないかを ON, OFF で切り替えます。 初期値： ON
	BLACK MASK	選択したエリアのマスキングの ON, OFF を選択します。 初期値： ON
	LEVEL	マスキングするレベルの閾値を 0 ～ 100 の範囲で指定します。HSBLC 機能では、画面内でこの閾値を超える明るい部分がマスキングされます。 初期値： 20
	MODE	ALL DAY：HSBLC 機能が常に動作します。 NIGHT ：夜間のように撮影場所の明るさが暗い場合にだけ HSBLC 機能が動作します。明るさの識別には AGC 電圧が使用されます。次のページの“＜注意＞”も併せてお読みください。
	DEFAULT	HSBLC 機能を工場出荷状態に戻します。

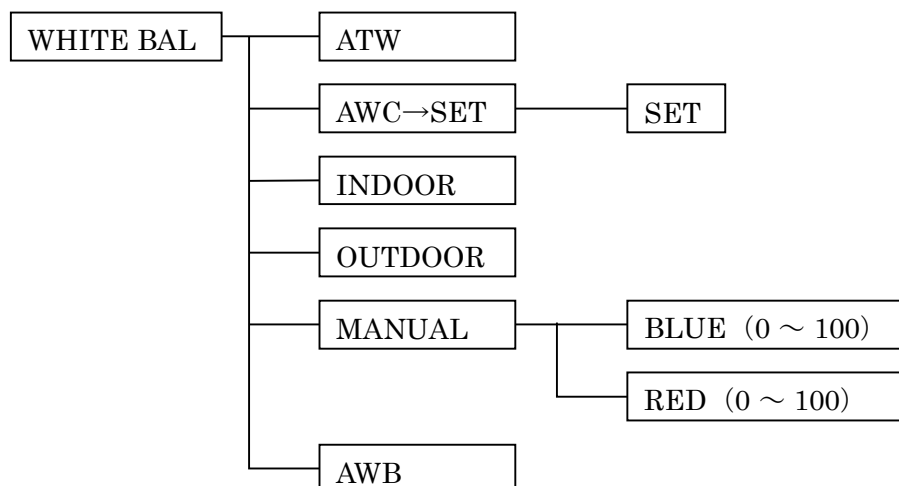
＜注意＞

HSBLC 機能を NIGHT モードで使用した場合の、機能の動作と不動作を決める閾値には露出制御用の AGC 電圧（レンズから入った光によって制御されています）が使用されます。従って原理的に以下のような点にご注意ください。

- カメラのデイナイト自動切換機能とは連動していません。（たとえカメラの DAY&NIGHT が AUTO に設定されている場合でも閾値が別個に存在するので）
- EXPOSURE メニューで AGC の値が“0”に設定されている場合、HSBLC 機能が NIGHT モードに設定されている場合でも ALL DAY モードと同じように常に動作するようになります。また EXPOSURE メニューの AGC の値によって周囲の明るさに対する閾値は変化します。
- HSBLC 機能の NIGHT モード識別の閾値は、カメラの露出調整の全てによって影響を受けます。従って、アイリス調整（マニュアルアイリスレンズの場合）、LENS メニューの設定、EXPOSURE メニューの設定等、露出に関する全ての設定が完了してから AGC LEVEL の値を決めるようにしてください。
- IR カメラで被写体が近くにある場合、HSBLC 機能の NIGHT モードの動作が正常に機能しない場合があります。

7. WHITE BAL メニュー

WHITE BAL メニューではホワイトバランス（白バランス補正）の設定をします。



設定値	説明
ATW	自動追跡ホワイトバランスとして動作します。
AWC→SET	ホワイトバランスチャートや白い紙などの白く写したい被写体を撮影しながら SET ボタンを押すことで、押した時点の被写体の状態にホワイトバランスを自動的にセットします。
INDOOR	AH シリーズではホワイトバランスを色温度約 3100° K に固定します。（白熱電球相当） AT シリーズではホワイトバランスを色温度約 5100° K に固定します。（晴天時及び昼白色蛍光灯相当）
OUTDOOR	ホワイトバランスを色温度約 5100° K に固定します。（晴天時及び昼白色蛍光灯相当）
MANUAL	緑のレベルに対する RED(赤)と BLUE(青)のレベルを 0 ～ 100 の範囲で調整することによってホワイトバランスを手動調整します。（緑のレベルは調整出来ません。）
AWB	自動ホワイトバランスとして動作します。

<情報>

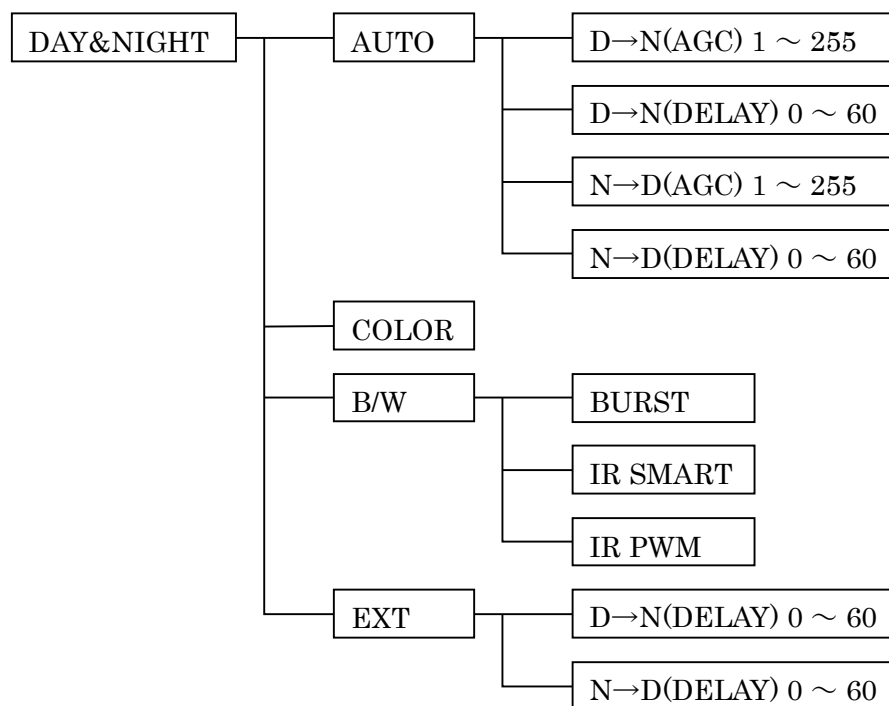
- 一般的な環境では「ATW」でを使用することをお勧めします。特殊な照明を使用している場合等、自動調整の範囲が ATW の範囲を超える場合には「AWB」をお試しください。

<注意>

- 「INDOOR」「OUTDOOR」「AWC→SET」「MANUAL」は自動調整ではないので、時間帯によって光の条件（色温度）が異なる場所で使用すると、時間帯によって画面全体の色調が変化します。
- 「ATW」「AWB」はどちらも自動調整ですが、大きな面積の色の濃い被写体を撮影すると不自然な色調になる場合があります。
- 前の表に示した「INDOOR」「OUTDOOR」の色温度値は、あくまで目安です、その確度や精度を保証するものではありません。本機は計測機器ではありませんので性能にはある程度のばらつきがあります。
- 照明ランプの色温度は同じ色名であってもメーカーや型番毎にその色温度は微妙に異なります。また、同じ色温度であってもランプの色度点は正確に黒体軌跡上にあるわけではなく配光スペクトルもランプ毎に異なるので色調には違いがある事にご留意ください。
- 白熱電球の色温度は電源電圧の影響を受けて大きく変化します。
- カメラで撮影された色調は、視覚的な色調と大きく異なる場合があります。

8. DAY&NIGHT メニュー

DAY&NIGHT メニューは、被写体の明るさ等に応じてカラー撮影と白黒撮影を切り替えるための機能に関する設定をします。また、白黒撮影では IR（赤外線）カットフィルタを解除します。



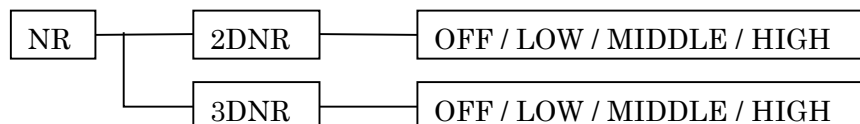
設定値 1	設定値 2, 3	説明
AUTO		撮像素子で撮影した被写体の明るさによってカラーと白黒を自動的に切り替えます。IR（赤外線照明）を持たないカメラでは「AUTO」が初期設定値になります。
	D→N(AGC)	デイからナイトに切り替える場合の AGC の閾値を指定します。 設定範囲：1～240 初期値：AH→ <u>217</u> AT→ <u>200</u>
	D→N(DELAY)	デイからナイトに切り替える場合に AGC が閾値を過ぎてから実際に切換え動作を実行するまでの時間を指定します。 設定範囲：0～60 初期値： <u>3</u>
	N→D(AGC)	ナイトからデイに切り替える場合の AGC の閾値を指定します。 設定範囲：1～240 初期値：AH→ <u>60</u> AT→ <u>80</u>
	N→D(DELAY)	ナイトからデイに切り替える場合に AGC が閾値を過ぎてから実際に切換え動作を実行するまでの時間を指定します。 設定範囲：0～60 初期値： <u>3</u>
COLOR		常時カラーで撮影します。
B/W		常時白黒で撮影します。
	BURST	白黒時にカラーバースト信号の ON / OFF を切り替えます。 初期値： <u>OFF</u>
	IR SMART	ON に設定すると、白黒時に指定した長方形の範囲の明るさを一定に保つような露出制御をします。BLC 機能に近い動作です。 初期値： <u>OFF</u>
		LEVEL IR SMART 機能の効果の強さを調整します。 調整範囲：0～15 初期値： <u>3</u>
		AREA 露出制御の測光範囲を長方形の範囲で指定します。
EXIT		CdS 等の撮像素子とは別の光センサーによって明るさを検出してカラーと白黒を自動的に切り替えます。IR（赤外線照明）を持つカメラでは「EXT」が初期設定値になります。
	D→N(DELAY)	明るさが暗くなってからカメラがナイトモードに切り替わるまでの時間を指定します。 調整範囲：0～60 初期値： <u>3</u>
	N→D(DELAY)	明るさが明るくなってからカメラがデイモードに切り替わるまでの時間を指定します。 調整範囲：0～60 初期値： <u>3</u>

<注意>

- AGC の閾値は明るさに置き換えて考えた場合には、より暗い方が数値は大きくなる点に注意して設定値を決めてください。
- IR 機能を持たないカメラでは、「EXT」に設定しないでください。
- 赤外線照明のある場所（IR カメラのある場所を含む）で「AUTO」に設定するとデイモードとナイトモードを繰り返す場合があります。（赤外光が強い場合は設定で回避できない場合がありますが原理的な特性であり故障ではありません）
- 「D→N(AGC)」の値と「N→D(AGC)」の値が近い場合にはデイモードとナイトモードを繰り返す場合がありますが、故障ではありません。「D→N(AGC)」の値より「N→D(AGC)」の値が十分に小さくなるように設定してご使用ください。

9. NR メニュー

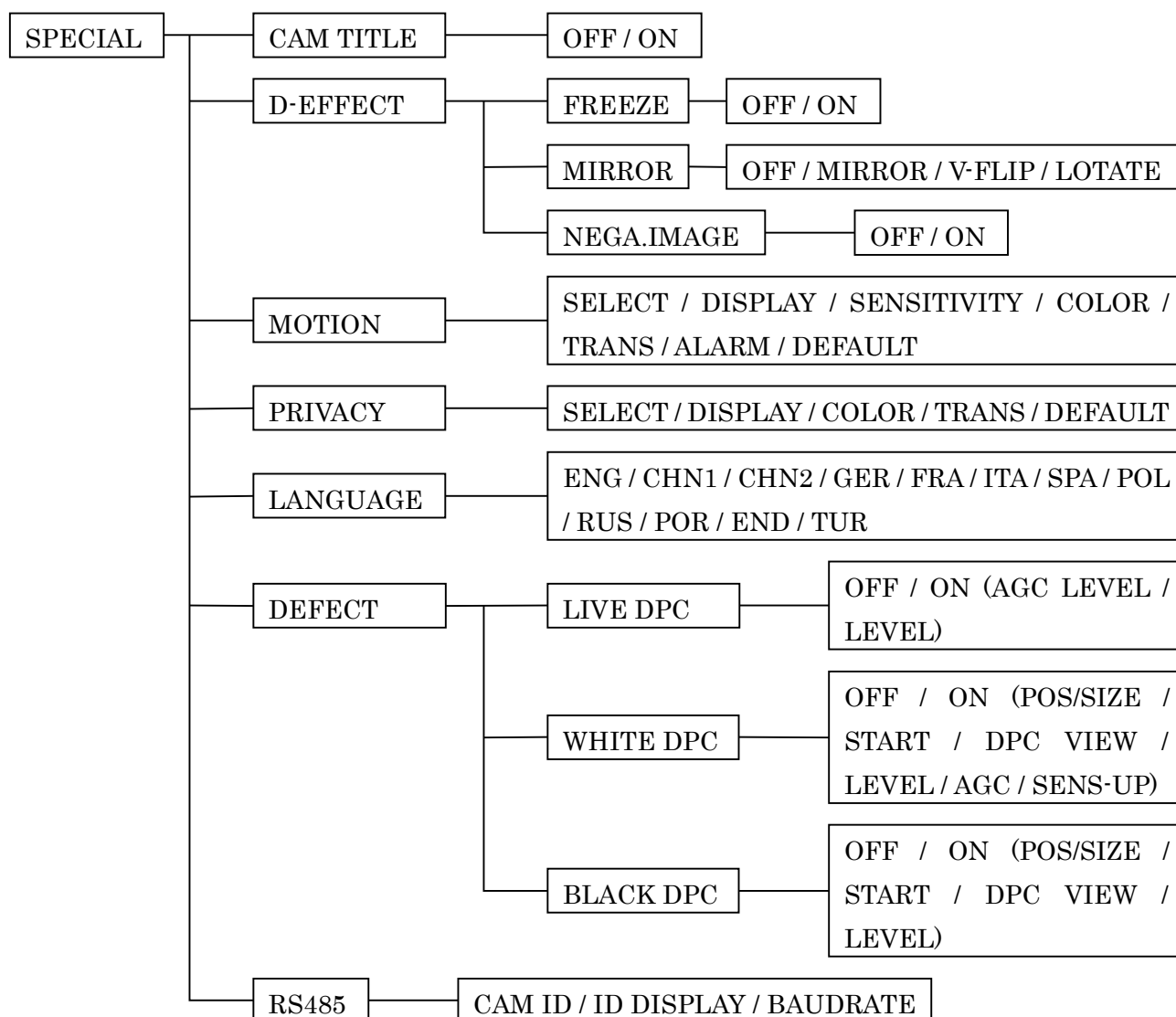
NR（Noise Reduction）メニューは、ノイズ低減機能に関する設定をします。ノイズ低減機能は映像を見易くすると共に、夜間 DVR でハードディスクに記録するデータ量が増えてしまうことを抑制する効果があります。一方でこれらの機能は一部のパラメータで画質低下を起こしますので、効果の強さを適宜調整してご使用ください。



項目	設定値	説明
2DNR		2DNR 機能は、ノイズ低減効果はあまり高くありませんが残像を生じないノイズ低減方式ですので動きの多い映像に適しています。
	OFF	2DNR 機能を使用しません。
	LOW	2DNR 機能を使用します。効果の強さは LOW=弱, MIDDLE=中, HIGH=強 です。
	MIDDLE	
	HIGH	
3DNR 初期値 AH→ MIDDLE AT→ LOW		3DNR 機能は、高いノイズ低減効果が期待できるノイズ低減方式ですが、残像を生じるので、動きの多い被写体には適しない短所があります。
	OFF	3DNR 機能を使用しません
	LOW	3DNR 機能を使用します。効果の強さは LOW=弱, MIDDLE=中, HIGH=強 です。
	MIDDLE	
	HIGH	

10. SPECIAL メニュー

SPECIAL メニューでは、撮影の基本機能には含まれない特殊機能の設定をします。



項目	設定値	説明
CAM TITLE	ON / OFF	カメラの設置場所を示す情報等を 15 文字以内のアルファベット、数字、特殊記号を使って画面に表示することが出来ます。
D-EFFECT		撮影した映像に特殊効果をかけることが出来ます。
FREEZE	OFF ON	通常のビデオカメラとして動作します。 ON に変更した瞬間の状態映像を静止画にします。
MIRROR	OFF MIRROR V-FLIP ROTATE	映像の向きを変更しません。 映像の左右を反転します。 映像の上下を反転します。 映像の上下と左右を両方とも反転します。
NEGA.IMAGE	OFF ON	映像の明るさと色の階調を通常の状態にします。 映像の明るさと色の階調を反転します。

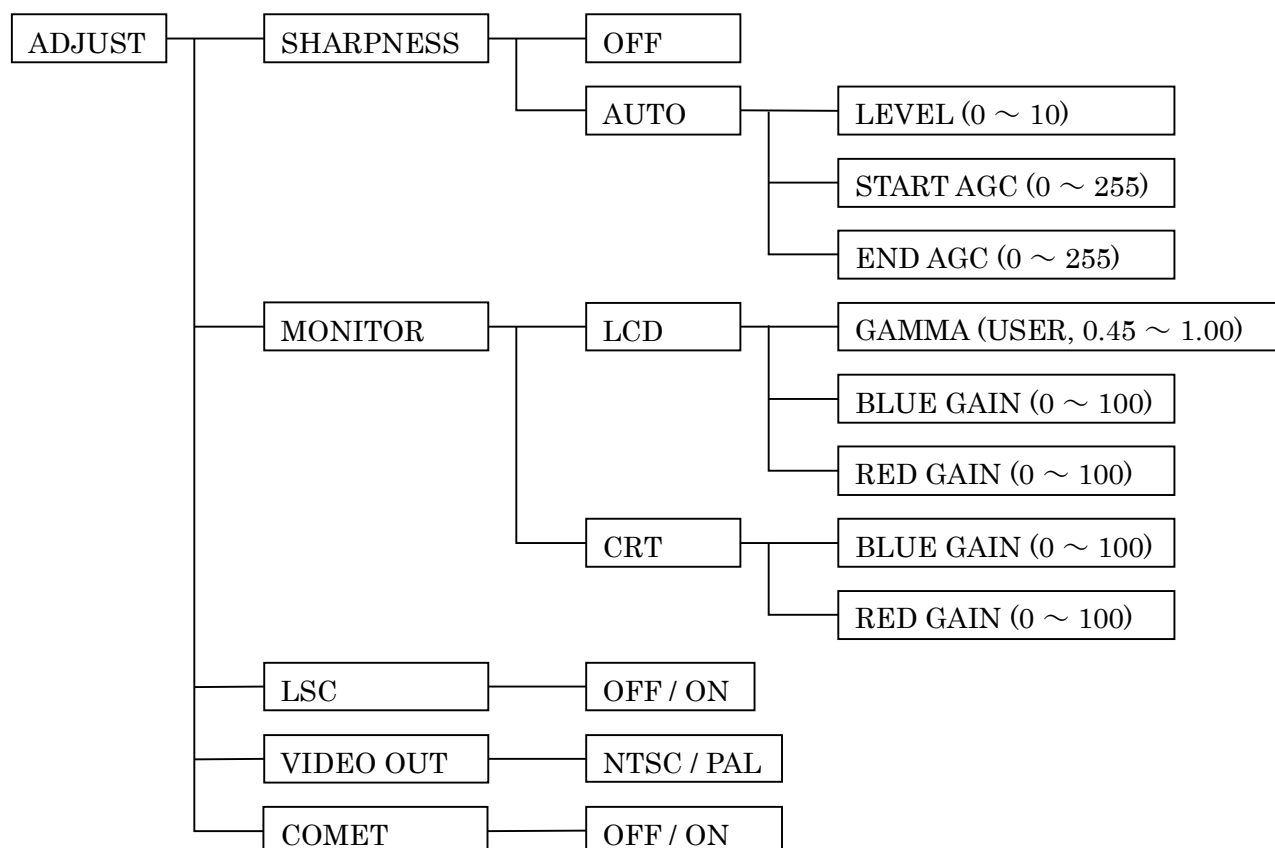
MOTION		OFF , ON	最大 4 箇所までの長方形の範囲（エリア）を指定して、範囲内の映像の動きを検出して目立つように表示する機能です。
SELECT		1, 2, 3, 4	設定を変更するエリアを選択します。
DISPLAY		OFF, ON	SELECT で選択したエリアを表示する場合は ON を、表示しない場合は OFF を選択します。
SENSITIVITY		0 ～ 100	SELECT で選択した 1, 2 と 3, 4 のモーション検出感度を調整します。1 と 2 及び 3 と 4 はペアなので個別に調整することは出来ません。初期値： 64
COLOR		GREEN, RED, WHITE, BLUE	SELECT で選択したそれぞれのモーション検出エリアの枠と検出箇所を示すモザイクの色を GREEN(緑), RED(赤), WHITE(白), BLUE(青) の 4 色から選択します。 初期値： AREA1 = GREEN(緑) AREA2= RED(赤) AREA3 = WHITE(白) AREA4= BLUE(青)
TRANS		0.00, 0.25, 0.75, 1.00	モーション検出時のモザイク表示の不透明度を設定します。
ALARM			モーション検出の出力方法を選択します。
	VIEW TYPE	OFF, BLOCK, OUTLINE, ALL	モーション検出時のグラフィックによる表示方法を選択します。 O F F：グラフィックによる表示をおこないません。 B L O C K：被写体の動きを検出した部分を設定した色でブロック状に塗り潰します。 O U T L I N E：被写体の動きを検出した部分を含む検出範囲全体を囲む長方形の枠線を設定した色で表示します。 A L L ：ブロックと枠線の両方を表示します。
	OSD VIEW	OFF, ON	モーション検出時に、文字による表示をおこなうかどうかを選択します。 O F F：文字による表示をおこないません。 O N ：被写体の動きを検出した時に「MOTION DEDECTED」という文字列を表示します。
	ALARM OUT	OFF, ON	<予定機能> この機能はご利用いただけません。
	TIME	0 ～ 15[秒]	被写体の動きを検出した場合に、検出範囲の枠線と文字による警告を表示するおおよその時間を 0 ～ 15 秒の範囲で指定します。初期値： 3
DEFAULT			MOTION メニューの設定を工場出荷時の状態に戻します。

PRIVACY		OFF , ON	最大 4 箇所までの長方形の範囲（エリア）を指定して、範囲内の映像をマスキングすることで被撮影者のプライバシーを保護する機能です。
	SELECT	1, 2, 3, 4	設定を変更するエリアを選択します。選択されているエリアは点滅表示されます。
	DISPLAY		SELECT で選択したエリアのマスクの表示方法を選択します。 初期値： AREA1 = COLOR(塗りつぶし)WHITE(白) AREA2 = MOSAIC(モザイク) AREA3 = INV.(諧調反転) AREA4 = COLOR(塗りつぶし)YELLOW(黄)
	OFF		SELECT で選択したエリアをマスキングしません。
	MOSAIC	POSITION SIZE	エリアをモザイクでマスクします。 エリアの位置とサイズを変更できます。
	INV.	POSITION SIZE	エリア内の明るさと色を反転します。 エリアの位置とサイズを変更できます。 <注意> INV (諧調反転) には映像を秘匿する効果はありません。 また、元の映像を復元することが技術的に可能です。 従って、このモードはプライバシーの保護には利用できません。被写体の視覚的な不快感を軽減する目的等、秘匿性を必要としない目的でご利用ください。
	COLOR	POSITION SIZE	エリア内を特定の色で塗りつぶします。 エリアの位置とサイズを変更できます。
	COLOR	WHITE, BLACK, RED, BLUE, YELLOW, GREEN, CYAN, USER	「DISPLAY」で「COLOR」を選択した場合に塗り潰す色を選択します。 それぞれの色の日本語名は以下の通りです。 WHITE=「白」、BLACK=「黒」、RED=「赤」、BLUE=「青」、YELLOW=「黄」、GREEN=「緑」、CYAN=「シアン(水色)」
	TRANS	0.25, 0.50, 0.75, 1.00	「DISPLAY」で「COLOR」を選択した場合に塗り潰す不透明度を選択します。
LANGUAGE	DEFAULT		PRIVACY メニューの設定を工場出荷時の状態に戻します。
		ENG , CHN1, CHN2, GER, FRA, ITA, SPA, POL, RUS, POR, NED, TUR, KOR, JPN, HEB, ARB	GUI 表示言語を以下の 12 言語から選択します。 なお、この取扱説明書は英語「ENG」を選択していることを前提に記述しております。 ENG(英語), CHN1(簡体中国語), CHN2(繁体中国語), GER(ドイツ語), FRA(フランス語), ITA(イタリア語), SPA(スペイン語), POL(ポーランド語), RUS(ロシア語), POR(ポルトガル語), NED(オランダ語), TUR(トルコ語), KOR(韓国語), JPN(日本語), HEB(ヘブライ語), ARB(アラビア語) <注意> ● 安易に使用者が理解できない言語に変更しないでください。元に戻せなくなる場合があります。
DEFECT	[保守機能]		このメニューは変更しないでください。

RS485	[未使用]	このメニューは変更しないでください。
-------	-------	--------------------

11. ADJUST メニュー

ADJUST メニューでは、画質に関する調整をします。



項目	設定値	説明
SHARPNESS		SHARPNESS は映像の輪郭を強調することで、映像をくっきりと見せる機能です。
OFF		輪郭を強調しません。
AUTO		以下の設定に従って輪郭を強調します。
LEVEL	0 ~ 10	輪郭強調の効果の強さを調整します。 初期値：AH→ 7 AT→ 6
START AGC	0 ~ 255	本機のシャープネス機能は、十分にノイズが少なくなる明るい環境では強く機能しますが、被写体が暗くなるに従ってノイズを目立たなくするために効果が弱まるようになっています。 START AGC では、効果を弱め始める明るさを調整することができます。数値を小さくするとより明るい状態から、数値を大きくするとより暗い状態から効果を弱め始めることができます。 初期値： 120
END AGC	0 ~ 255	END AGC では、START AGC で設定された明るさより被写体が暗くなった場合に、明るさの変化に対してどの程度急峻に効果を弱めるかを調整します。数値が小さいほど急峻に変化し、数値が大きいほどなだらかに変化します。 初期値： 255

MONITOR		使用するモニターに適した色と階調を調整します。 初期値： LCD
LCD		LCD(液晶)モニターに適した設定。
GAMMA	USER , 0.45～1.00	ガンマ補正値を設定します。 初期値： USER
BLUE GAIN	0 ～ 100	B-Y 軸の色の濃さを調整します。 初期値： 47
RED GAIN	0 ～ 100	R-Y 軸の色の濃さを調整します。 初期値： 45
CRT		CRT(ブラウン管)モニターに適した設定。
BLUE GAIN	0 ～ 100	B-Y 軸の色の濃さを調整します。 初期値： 50
RED GAIN	0 ～ 100	R-Y 軸の色の濃さを調整します。 初期値： 50
LSC	OFF / ON	LSC は、レンズの光学的特性によって画面の周辺部が暗くなる現象を軽減する機能です。 初期値： ON
VIDEO OUT	NTSC	<予定機能> 設定を変更しないでください。誤って設定を変更してしまうと映像が出力されなくなります。誤って設定を変更してしまった場合は、電源を「切」→「入」してください。
COMET	OFF	<工場オプション> 設定を変更しないでください。誤って設定を変更してしまうと映像が出力されなくなります。誤って設定を変更してしまった場合は、電源を「切」→「入」してください。

<注意>

- 今回の AHD 2.0 (2M pix) のモデルから SD モード内のメニューの「MONITOR OUT」機能は廃止されています。それに伴い、**アスペクト比 4:3 のモードは非対応**となっております。
- 「VIDEO OUT」および「COMET」の設定を誤って UTC 機能を使って操作してしまった場合、遠隔操作による復旧が出来なくなります。(カメラの電源を遠隔操作によって入／切できないので)
- SHARPNESS 内の START AGC 及び END AGC は表内の説明では便宜上「明るさ」に対する動作として説明していますが、内部的な動作は AGC 電圧に対する動作ですので、明るさに対する動作点はレンズの種類や他の設定によっても影響を受けます。

III. 付録

1. TVI 及び CVI 方式への切り換えについて

AT シリーズは、お客様のご要望に応じて AHD 方式以外に、TVI 及び CVI 方式のカメラとしてご利用いただくことが可能です。TVI 方式及び CVI 方式でのご利用を希望される場合は、注文時にお申し付けください。

また、お客様自身で変更することも可能ですが、次の注意事項をご理解ご承諾の上でお客様の責任において変更作業をおこなってください。

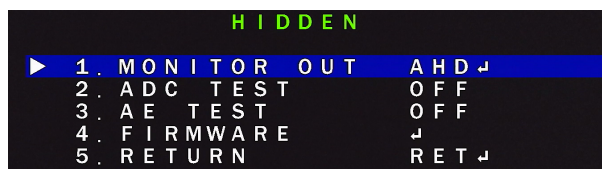
<注意>

- AT シリーズの TVI, CVI 出力は、あくまで準拠出力です。それぞれの方式への適合性が完全に保証されているわけではありませんので、組み合わせる機器によっては正しい信号と認識されない可能性があります。
- 変更作業は、必ずテストモニター（AHD, TVI, CVI 2M pixel 対応機）のある環境で実施してください。全方式対応のテストモニターが無い場合、設定を元に戻せなくなる場合があります。
- お客様自身で設定を変更して設定を元に戻せなくなった場合は、弊社でのサポートは有償修理扱いとさせていただきます場合があります。
- AH シリーズのカメラは TVI, CVI 方式への変更はできません。
- 弊社の PDR シリーズの DVR は TVI 及び CVI 方式には対応しておりません。IRV シリーズとの組み合わせでご利用ください。

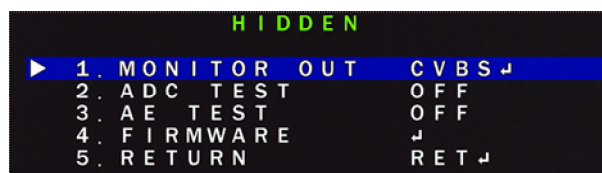
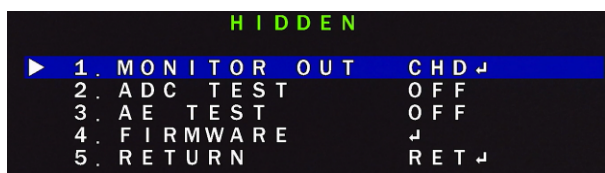
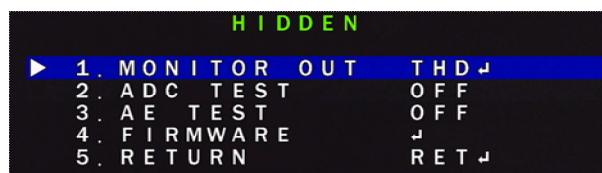
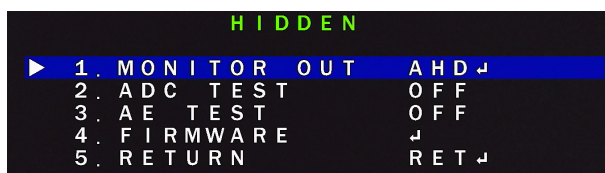
1. HIDDEN（不可視）メニュー

TVI 及び CVI 方式に変更するには、HIDDEN メニューを起動します。

- (1) 「MAIN MENU」を開きます。
- (2) カーソルを「EXPOSURE」メニューに合わせます。
- (3) OSD ノブを **R** 方向に 3 回倒します。（ボタンの場合は **▶** を 3 回押す）
- (4) OSD ノブをまっすぐ押します、（ボタンの場合は **SET** を 1 回押します）
- (5) 画面上部に「HIDDEN」と表示されたことを確認します。（「EXPOSURE」と表示されてしまった場合には「RETURN」で「MAIN MENU」に戻って (2) からやり直します。



- (6) カーソルを「MONITOR OUT」に合わせ、OSD ノブを L または R 方向に繰り返し倒して適切な方式を選択します。メニューに表示される方式名と実際の信号方式の対応は次表の通りです。



メニューに表示される信号名	出力される映像信号の方式
AHD	AHD
THD	TVI
CHD	CVI
CVBS	NTSC または PAL

- (7) OSD ノブをまっすぐ押すと図のような確認画面が表示されます。（ボタンの場合は **SET** を押します。）
- (8) 確認画面では、ゆっくり点滅する「RET」と点滅しない「APPLY」とが表示されます。



- (9) 変更を適用する場合は OSD ノブを R 方向に倒して「APPLY」がゆっくり点滅する状態にします。（ボタン操作の場合は **▶** を 1 回押します）
- (10) 最後に OSD ノブをまっすぐ押すと、変更が適用された状態でカメラが再起動されます。

<情報>

確認画面で変更を適用しない場合は「RET」がゆっくり点滅している状態の時に OSD ノブをまっすぐ押すことで「HIDDEN」メニューに戻ることができます。（ボタン操作の場合は「RET」がゆっくり点滅している状態の時に **SET** を押します）

輸入販売元

有限会社 インターラック

〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町窪田 3365-8

TEL: 0985-55-0752

FAX: 0985-55-0815

<http://www.interluck.co.jp>